

「地域医療構想を踏まえた東濃東部の医療に係る政策提言書」 回答

国が進める地域医療構想は、将来の人口構造や医療ニーズの変化に対応するため、医療機関の機能分化と連携を強化し、効率的で質の高い医療提供体制を構築することを目的としている。従来の地域医療構想が主に急性期医療を中心としていたのに対し、2040年を見据えた「新たな地域医療構想」では、在宅医療の強化、医療と介護の連携、医療従事者の確保が重要なテーマとされている。

現在、多くの医療圏が少子高齢化の進行や人口減少に伴う医療ニーズへの対応を求められており、とりわけ2025年から2040年にかけて医療・介護提供体制の再構築が喫緊の課題となっている。

こうした背景から土岐市と瑞浪市では2月1日、広域で地域医療の課題解決を目指して東濃中部医療センターを設置したところである。

中津川市が位置する東濃東部地域においても、近い将来、市民の安全安心な医療提供体制を維持確保するため、国が進める新たな医療構想を踏まえた広域での医療提供体制を早急に検討する必要があると考える。

については、下記のとおり提言するので検討をお願いしたい。

1. 地域医療構想における東濃東部の適正な医療提供体制について検討を進めるため、恵那市及び関係機関と共に「(仮称)東濃東部の医療を考える研究会」を設置すること。

【回答】

少子高齢化の進行や人口減少に伴う医療ニーズの変化に対応し、市民の安全安心な医療提供体制の維持確保が求められています。さらに、国が進める新たな地域医療構想では、在宅医療の強化、医療・介護連携の推進、医療従事者の確保を図るとともに、人口減少下でも必要な医療を維持するため、広域的な視点に立った医療提供体制の再構築が重要とされています。

令和7年度より中津川市と恵那市は両市事務担当者で医療に関する意見交換をはじめており、令和8年度においても継続して協議を進めております。いただいた提言を踏まえ、事務担当者による意見交換から、より実質的な検討へ進めるため、「(仮称)東濃東部の医療を考える研究会」の設置に向け、恵那市をはじめ、県、恵那医師会、医療機関等との協議を速やかに進めてまいります。